



全日本アマチュア無線連盟

土浦 アマチュア無線 クラブ



2009全日本ARDF競技大会が土浦市で開催されます。競技に参加してみませんか？クラブでは開催に全面協力しています。準備にご協力をお願いします。



土浦アマチュア無線クラブニュース 平成21年 10月

お 知 ら せ

事務局 JH1WGP 大木武

★ 10月24日(土)、25日(日) ARDF 全日本競技大会のお知らせ

いよいよ今月10月24日(土)、25日(日)に2009年 ARDF 全日本競技大会が土浦市永井「中央青年の家」で行われます。また前日にはかすみがうら市中佐谷の第一常陸野公園でエキシビション競技も実施されます。10月24日、25日二日間ですが、一日でも結構ですので出来るだけクラブ員各局のご協力を御願いたします。

役割等は競技の関係上、不明ではありますが近々明らかになるでしょう。尚、去る3月に行われました ARDF 審判講習会で資格取得された方は、もう一度復習をされてはいかががでしょうか？

注：エキシビション競技会場は、当クラブ恒例の FOX ハンティングの第二常陸野公園ではありませんので注意してください。JARL の紹介ページはこちらです。

http://www.jarl.or.jp/Japanese/1_Tanoshimo/1-5_ardf/2009/2009ardf_info.htm

10月24日(土) (3.5MHz)

10月25日(日) (144MHz)

***特別記念局 8J1 ARDF は10月24日～31日まで竜が峰山荘にて運用します。**
準備等についてご協力願います。また、運用にも来てください。

★ クラブ FOX ハンティング/アイボール大会のお知らせ

恒例のフォクスハンティング/アイボールを下記日程で行います。

ストレス解消と運動不足解消に野山を駆け回らしましょう！！

期日 : 11月23日(月) 勤労感謝の日

時間 : 現地集合9時 スタート10時 会食12時

場所 : かすみがうら市「第二常陸野公園」

★ 9月5日(土) ナイトボーリング大会が行われました

恒例の土曜の夜のナイトボーリング大会が30余名の参加のもと行われました。当クラブもお孫さんを持つ年代が多くなり参加者年代巾がグリーンと広まり小学生以下のお子さんのボーリングは、微笑ましいです。

いつもながらアチラ此方でワアーっと歓声が上がりボーリングって本当に楽しいですね。日頃の運動解消にはなるし、是非次回も多くの参加者をお待ちします。

本大会の上位成績はつぎの通りです。

優勝：JS1VPY大関さん、大関さんは新春ボーリング大会でも優勝し2連覇です。 こんどは3連覇を狙うと意気込んでいます。

二位：JL1SUJ松本さん、 三位：JA1IOA矢口さん

4位 J E 1 L U H、5位 J E 1 R L K 6位からの参加者は次の通りです。
JL1LLM JG1BUC (LUHのXYL) JG1HJVと2ndのJE1OPY、JF1MCF、
JF1FOM。JA1CCN JR1CCP JE1DGN JG1OSX 7N4WUD JG1TPWとア
ラカワユキオさん、ヨウコさん、ララさん 7K4IJJとXYLのユクミさん
JA1EHQ JG1NUV JH1WGP イツコさん (JA1IOA-XYL) JN1VVE
JA1AZQ 見学者はJA1LIS、JF1KZDのお二人。今回もJF1KZD池田さんから賞
品の“梨”を頂き、又JA1PBV伊藤さんからも賞品の“Tシャツ”を頂きました。
有難う御座いました。

会長 J G 1 O S X 木島一夫さんからのコメント

土浦アマチュア無線クラブの皆さんお世話さます。

9月15日上期最後の行事ナイトボーリング大会が大学ボウルにて開催されました。
ご夫婦での参加、お子様との競演、腕の故障にて残念今回は見学に回られた局長さ
ん、参加者合計28名楽しい一夜を過ごす事が出来ました。有難う御座いました。

又、賞品の協賛をして頂きました御二方に対し心より御礼申し上げます。

JA1PBV 伊藤様 JF1KZD 池田様

役員一同、感謝申し上げます。

順位

第一位 JS1VPY 大関様 277点、

第二位 JL1SUJ 松本様 274点

第三位 JA1IOA 矢口様 268点

上位三名の方おめでとう御座いました。
クラブ員各局ご協力有難う御座いました。

(写真左は

J S 1 V P Y局、右は J L 1 S U J局)



筑波山ハイキング

副会長 J E I R L K 田中 文之

9月21日敬老の日、老骨にむち打って行ってきました。

8月号で石岡側からのコースを紹介しました。今回は北側、櫻川市からのコースで、つくし湖、薬王院、御幸ヶ原という行程で歩きましたので紹介します。

家を出たのが9時10分、つくし湖着10時、身支度をして薬王院を目指す、薬王院まで約1.3キロ、舗装道路で約20分、10数年前に1、2度来たことがあるので、懐かしく思い、又、様変わりもしていたので新鮮さもありました。



登山口



梅林林道ぶんぎ

ここで約10分見学し、御幸ヶ原へ、しかしここで登山道を見失いおかしいなと思いつつ、歩き続け1時間、筑波梅林から来たという、ハイカーのかたに出会い、道を聞きました。

同じ道に行くということなので、お願いし、一緒に行くことにしました。

この方と雑談をしながら登山道へ到着、梅林を出てから1度も休憩を取っていないとの事で、登山道の入り口で休憩とのこと、私も

休憩は取っていなかったのですが、お先に失礼と言うことで、1人で出発、薬王院からと、梅林からの舗装道路との出会いまで、約1.5キロ、わりかしなだからで足下も良く、歩きやすかったです。

ここから御幸ヶ原までは、約1.6キロ、道のりの半分ぐらいは丸太の階段です。

歩く歩幅は人それぞれで、階段の段差と歩幅が合わず、もの凄く疲れました。

もっとも御幸ヶ原まで一度も休憩を取らなかったなので、仕方ないかなー。

腹は減る、疲れる、G

パンはずり落ちてくる、歩いているうち腹が引っ込む、ベルトの穴を一つ締め込みました。



丸太の階段

御幸ヶ原でビール、ラーメン、うまかったー。

その後、男体山山頂そして、自然観察道（男体山山頂）を一週、そして下山。



男体山を望む

2009.09.21

またまた休憩を一度も取らずに降りてきてしまいました。

左足の膝の関節にすこし違和感をおぼえました。

休憩は無理をせず、適時取らないとだめですね、特に階段はきついですから。

メタボ気味の人、は有酸素運動を努めて実施するよう心がけて、健康管理に努めて下さい。

有酸素運動と言えばハイキングが一番のことです。

皆さんもぜひ、山登りをさせていただきたいと思います、都合の許す限り、おつきあいたいと思っています、声をかけて下さい。



薬王院門

2009.09.21



薬王院及び三十の塔

2009.09.21

ARDF 競技大会土浦AMC協力スタッフについて

事務局 J F 1 M F E 久松 満男

本誌発行までに参加表明していただいた方は次の通りです。

J G 1 W M N 葛綿 繁

J F 1 M F E 久松満男

J O 1 L E A 松澤由幸

J G 1 T P W 野尻紀年

J G 1 O S X 木島一夫

J E 1 R L K 田中文之 25日のみ

J A 1 I O A 矢口 蕃 25日のみ

J A 1 B N H 西成 弘

J A 1 P B V 伊藤寧夫

J H 1 W G P 大木 武

J R 1 D L X 平松富雄

J G 1 H J V 森田 隆

J I 1 W L L 小沢 靖

J L 1 L L M 中田達也

J N 1 V V E 高野初枝 24日のみ

J O 1 F Y S 久松充信

J Q 1 C R S 荒井 博

J S 1 V P Y 大関 伝 25日のみ

J G 1 N U V 入山俊明

J A 1 L I S 飯田芳雄

J A 1 P M S 鳥羽久良

J R 1 C C P 長塚 清

J F 1 K Z D 池田正之

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 事務局 JA1PBV 伊藤 寧夫より

＝ HAM用 英会話教室について ＝

「クラブ員より海外との交信が苦手」との話を聞きます。

この度、JG1WMN葛綿さんのご尽力で先生を探していただきました。

下記のような内容で1月から開催を考えていますのでご希望の方は当局宛に、その旨を連絡下さい。10人程度の希望者がありましたら、本格的に計画を進めたいと思います。

開催回数： 4回／毎月 月謝： 5k円 教材費： 1k円
教室： 二中地区公民館 連絡方法： JA1PBVまで。

＝ オンエアーミーティングについて ＝

当局自身、日本を離れることが多く毎回参加と言うことができませんが、在宅時にワッチしてみると土浦レピータに出てくる方もオンエアーミーティングに出てくる方も、昨年に比べると少なくなっているように思います。

アマチュア無線もレピータでの運用も、非常時には大変有効な通信手段です。

是非、運用できるように設備の保全と運用をされては如何でしょうか。

始めは中々電波を出しにくいと思いますが、土浦レピータに出てこられる方は周辺にお住まいの方ですので、直ぐに慣れると思います。防災のためにも、クラブの活動状況を知るためにも、電波を出されては如何でしょうか。

オンエアーミーティングの詳細は最終ページに記載してあります。

＝ アフガニスタン支援に参加、通信工業新聞で終了報告 ＝

少し前の話になりますが、6月12日より7月4日までアフガニスタンを訪問しました。目的は、所属しているNGO団体の一員として、バルフ州の医療施設に対し無線局を開設することでした。

しかし、ご存知のように治安が悪く現地では防弾車での移動、しかも、事務所と宿泊先の二箇所しか移動許可が出ません。従って、現地で技術者を探して教育した後に設置にあたることになりました。現地技術者とは無線交信や衛星通信、帰国後はインターネットを使用した遠隔対応を行いました。

8月初には50施設に対し設置が完了し、現地の保健省に引渡しが行われました。左の写真は設置した医療施設に診察に来た子です。左足の不自由なこの子の将来を危惧します。次ページの新聞は通信工業新聞で完了報告を掲載したものです。以上、JA1PBV 伊藤から



BHNN会員からのレポート

独立行政法人日本国際協力機構(JICA)の草の根技術協力事業として、2007年6月にスタートしたアフガニスタン・バルフ州の医療無線連絡網構築事業が完了し、8月23日に保健省への引き渡し式が行われた。この事業に携わったBHNN参与の伊藤聖夫さんに報告してもらった。

この事業は、州都マザリとしている。こうした医療シャリフの中央病院と電話 用無線連絡網構築支援は、のない医療施設合計50カ所 BHNNの得意とする分野の無線回線を通じて、僻地医療の一つで、外務省の資金で10年の改善を図ることを目的 年間継続支援をしているラオスでの事業のほかに、2002年にはカブールの誘拐や殺害事件が頻発し、BHNNスタッフの宿舎近くで自爆テロ事件



無線機の設置が終わった地方の病院と試験交信をする筆者(右)

JICAから承認を得ていたが、治安の悪化で実施が延期され、計画から完了までに6年を要した。事業の開始時期が大幅に遅れたばかりでなく、始まったばかりでも、外国のNGOスタッフが誘拐や殺害事件が頻発し、BHNNスタッフの宿舎近くで自爆テロ事件

03年から翌年にかけてはアフガニスタン南部カンダハル州で、筆者も参加して実施している。バルフ州での事業は03年不自由な中で行わなければならなかった。特に昨年8月、日本のNGOスタッフ

フが遺体で見られる事件が発生した後は、日本人の渡航禁止措置がとられ、無線機設置工事を中断せざるを得なくなった。今年に入っても、8月の大統領選挙を挟んで治安の悪化が予想されたが、早期完成を待つ現地側の要望に

6月中旬から酷暑の中を2週間、事業責任者の野中正晴事務局長(理事)と筆者が出張し、現地を技術指導を行って、無線機設置工事を再開した。併せて運営委員会を開催して、関係者と設置完了後の運用方針を討議した。

治安悪化の困難乗り越え アフガンで医療無線構築

援で救われる命があるならば、思い思いの服装で自分ば、現地での苦労も報われたいものである。筆者のこの事業への参画は、事前調査と、この現地の入りも含めた指導だけであつたが、その間、準備段階から数えて実質約3年間、多くの関係者が過酷な生活環境や危険を伴う現地業務を支えあつて乗り越えて

事が行われていた。最後に残った設置地域は、ロバやラクダで数日かかる僻地であつたが、工事は滞りなく完了し、連絡網完成にきつた。アフガニスタンの今回のアフガニスタン訪問は、04年の6月以降のことである。5年ぶりの首都カブールには、高層ビルが出現して、携帯電話も急速に普及していた。女性も、全身を覆うブルカを脱いだ。その多くの国はアフガ

認められた。そこでこの4月から、東京の本部から指揮し、現地提携NGOが事業管理を行う体制で事業を再開させることになった。現地でアフガニスタンの技術者を時間をかけて指導することができなくなったため、4月には提携NGOから3名を日本に招聘して研修を実施した。その後、

筆者は、通信は「通信」加。アジアン・アフリカ各国で活動。今年、日本ITU協会国際活動奨励賞を受賞。63歳。

(BHNN参与 伊藤 聖夫) 筆者略歴(いとう きた) 1964年、キャン

＝ 2008年11月のFoxハンティングの風景です。来月開催されます ＝



役員名簿 平成 21 年度 4 月 1 日

役名	局名	氏名
会長	JG1OSX	木島 一夫
副会長	JE1RLK	田中 文之
副会長	JG1NUV	入山 俊昭
事務局	JH1WGP	大木 武*
事務局	JF1MFE	久松 満男
事務局	JL1LLM	中田 達也
事務局	JA1PBV	伊藤 寧夫
会計	JN1VVE	高野 初江

運営委員	
局名	氏名
JG1HJV	森田 隆
JR1CCP	長塚 清
JR1DLX	平松 富雄
J01FYS	久松 充信

*は事務局長

事業担当	
局名	氏名
JA1BNH	西成 弘
JA1PMS	鳥羽 久良
JE100N	坂本 竜一
JF1KZD	池田 正之
JF1PEL	山越 道則
JG1TPW	野尻 紀年
JG1WMN	葛綿 繁
J01LEA	松澤 由幸
JS1VPY	大関 傳

JARL 茨城県支部役員への協力会員

県支部 役員	JG1WMN	葛綿 繁	運営委員 (事業)
	JF1MFE	久松 満男	運営委員 (催事)
	J01LEA	松澤 由幸	運営委員 (県南地区)
	JG1TPW	野尻 紀年	監査指導委員

平成 21 年度 第 7 号	通巻 407 号	JARL 登録番号 14-1-0018
発行日: 平成 21 年 10 月 1 日	発行者: 土浦アマチュア無線クラブ 事務局	
オンエアミーティング: 毎週月曜日 PM9:00~ 土浦レピータ (439.70MHz)		
連絡先: 土浦アマチュア無線クラブ 事務局長 大木 武 (JH1WGP)		
Tel: 029-857-5488 amx03613@mail2.accsnet.ne.jp		